



学ぶ 伸びる 育つ

中央っ子

やさしく
かしこく
たくましく

第5号
令和5年6月15日
中央小学校
文責 上原

「当たり前を増やし、 続けていこう」

六月の全校集会では、運動会を頑張った子どもたちが、さらに力を伸ばし、輝くことができよう、「当たり前を増やし、続けていこう」という話をしました。

まず、「当たり前」クイズとして、次のことを例にあげ、「当たり前」にできていること、「当たり前」と思っていることを心の中で数えてもらいました。

- 「早寝・早起き・朝ご飯」
- 「はみがきをする」
- 「自分で着替える」
- 「気持ちのよい挨拶」
- 「ルールや決まりを守る」
- 「忘れ物をしない」
- 「チャイム着席」
- 「よい姿勢」
- 「ハイッ！返事」
- 「宿題をする」
- 「手を挙げて発表する」
- 「無言で掃除をする」
- 「お手伝いをする」



○「係・当番の仕事頑張る」

○「友達となかよくする」
これらは、ぜひ子どもたちができるようになって欲しいことです。低学年の場合は、お家の方の応援が必要なものもあるかもしれませんが、学年が上がるにつれて、「当たり前」にできることが増えていくはずですよ。



「当たり前」が増えると、体とともに心も成長し、いろんなことを自信もってできるようになり、笑顔で毎日を送ることが出来ます。

そして、みんなが「当たり前」のことを当たり前に行けるようになること、気持ちよく、楽しく過ごすことが出来ます。

でも、「当たり前」を続けていくのは簡単なようで難しいことです。ぜひ、自分の「当たり前」を増やし、自信を持って毎日を過ごして欲しいと思います。



心のきずなを深める月間

熊本県では、六月を「心のきずなを深める月間」といじめを許さない学校・学級づくりを目指して」と定め、いじめの未然防止に向けた総合的な取組を推進しています。

学校では、日々の学習や活動を通して「仲間づくり」を進め、互いに認め合い、支え合う集団、子どもたちが安心して学び合う環境作りに取り組んでいます。また、六月を校内人権月間とし、各学級で人権学習を行ったり、なかまづくり委員会が「ふわふわ言葉ボックス」を設置するなどの取組を行っています。併せて、日常の児童の様子に目を配り、定期的にアンケートも実施して、子ども達が抱えている悩みや不安を解消できるように努めています。

子ども達の自主的な活動として、赤・黄・緑の各団長の呼びかけによるあいさつ運動（中央小ハッピープロジェクトエクト）もスタートしました。



今後子ども達も互いに仲間としてつながり、楽しく過ごすことができるよう、ご家庭と連携しながら取り組んでいきたいと思えます。

いかのおすし

六月五日（月）に、不審者避難訓練を実施しました。校舎内に不審な人物が侵入したことを想定し、全児童が運動場に避難しました。校内放送を聞いて、全員の避難が完了するまで、三分二十一秒でした。四月に行った地震避難訓練の時よりも一分三十秒ほど早く、速やかに避難することができました。訓練の最後には、荒尾警察署生活安全課の方に、避難の様子を見た気づきや気をつけるべきことをお話しいただきました。

知らない人についていけない
知らない人の車にのらない
危ないときはおおごえをだす
危険を感じたらすぐにげる
近くの大人にしらせる

花のまちプロジェクト

六月七日（水）に、五年生が中央地区協議会の中村会長さんと一緒に、中央公園前の道路沿いの花壇に花苗を植えました。

みんなが心を込めて丁寧に植えた花壇には、きつときれいな花が咲くでしょう。

